

2011 年度学会活動報告

2011（平成23）年度活動報告書

（1）平成23年度年次総会開催の件

初の試みとなる研究発表大会と同日開催し、統一論題シンポジウムに引き続き、学会第18期の締め括りと、第19期の活動方針審議のため、平成23年6月18日（土）、麗澤大学（千葉・柏）に於いて平成23年度年次総会を開催した。

総会出席会員数57名、委任状121名

（議決人員178名／会員総数442名）

総会議題

議題1. 平成22年度学会活動状況報告の件（案）

議題2. 平成22年度学会決算報告の件（案）

議題3. 監査報告の件

議題4. 平成23年度学会活動計画審議の件（案）

議題5. 平成23年度学会予算審議の件（案）

議題6. 理事監事改選の件（案）

議題7. 会則改定の件（案）

上記が審議され、原案通り決定された。

（2）理事会開催の件

学会の業務運営に関する重要事項を審議決定する為、理事会を下記のごとく開催した。

（平成23年）

第124回理事会	4月23日（土）	平成23年度年次総会開催準備の件
第125回理事会	6月18日（土）	新役員の役職者選定及び新体制にかかわる件
第126回理事会	9月17日（土）	名誉会員・シニアアドバイザーにかかわる件
第127回理事会	12月3日（土）	東日本大震災対応研究の件

（平成24年）

第128回理事会	2月25日（土）	第4回経営倫理シンポジウムの件
----------	----------	-----------------

（3）研究発表大会開催の件

第19回研究発表大会を平成23年6月18日（土）-19日（日）麗澤大学（千葉・柏）において開催した。当学会の初の試みとして

二日間にわたって開催であった。統一論題『経営倫理教育の課題と展望』については当学会より依頼した有識者によるパネルディス

カッションと経営倫理教育部会によるワークショップが開催された。また自由論題24本の研究

発表を終日4会場に分けて行った。

麗澤大学からは開催にあたり多額の支援があり、後日、謝意を表するために収支差益の一部から10万円寄付を行った。

(4) 研究交流例会等開催の件

学会員の研究情報の交流と学会活動の理解を深める交流例会を前年度に引き続き下記のごとく開催した。なお昨年度から引き続き研究交流例会は2本立てとし、若手研究者等からの研究報告があった。

*第74回研究交流例会(平成23年7月2日)

1. 「IFRS(国際財務報告基準)と経営倫理」 日本橋学館大学名誉教授 古山英二 氏
2. 「インドのコーポレート・ガバナンスの現状と不祥事」
神奈川大学非常勤講師 ビシュワ・ラズ・カンデル 氏

*第75回研究交流例会(平成23年12月3日)

1. 「世界史における理念の展開と経営倫理の課題」

理念哲学研究部会部会長 宇佐神正明 氏

2. 「組織不祥事の潜在的な原因としてのアウトソーシング」 警察大学校教授 樋口晴彦 氏

*第76回研究交流例会(平成24年2月25日)

1. 「組織フィールド内外の人事制度の変化分析」 青山学院大学大学院教授 須田敏子 氏
2. 「マタニティ・ハラスメントを真剣に考える」 立教大学教授 河野哲也 氏

*国際委員会・CSR研究部会共催特別講演会(平成23年9月17日)

「日米自動車業界比較研究-従業員の安全と健康に焦点を当てて」

バージニア工科大学教授 Richard E. Wokutch 氏

通訳: 日本橋学館大学名誉教授 古山英二 氏

(5) 研究部会活動報告の件

各研究部会の登録メンバー、研究活動報告および今後の計画に関し別紙1にて報告。

部会長および登録メンバー数は平成24年3月末現在。

1. 理念・哲学研究部会

部会長: 宇佐神 正明 氏 登録メンバー数: 21名

2. 企業行動研究部会

部会長: 小坂 勝昭 氏 登録メンバー数: 57名

3. 監査・ガバナンス研究部会

部会長: 山脇 徹 氏 登録メンバー数: 15名

4. 実証調査研究部会

部会長: 福永 晶彦 氏 登録メンバー数: 11名

5. CSR 研究部会

部会長：水尾 順一 氏 登録メンバー数：57名

6. 経営倫理教育研究部会

部会長：梅津 光弘 氏 登録メンバー数：28名

(6) 地方組織活動の件

関西および中部各地区研究部会の登録メンバー、研究活動報告および今後の計画に関し別紙1にて報告。

研究部会長、参加数および登録メンバー数は平成24年3月末現在。

(I) 関西地区研究部会

部会長：吉川 吉衛 氏 参加数：約25名

(II) 中部地区研究部会

部会長：堀田 友三郎 氏 登録メンバー数：28名

(7) 学会報発行の件

学会の活動状況伝達のため、学会報No.55第58号(平成23年7月25日発行)、No.56第59号(平成23年11月25日発行)、No.57第60号(平成24年3月30日発行)を夫々発行し会員各位に配布した。

(8) 学会誌発刊の件

麗澤大学で開催された第19回研究発表大会での発表を中心に、統一論題報告要旨3本、本論文22本および研究ノート2本からなる

『日本経営倫理学会誌第19号』を平成24年1月に発刊した。

(9) 国際交流推進の件

平成22年度に引き続き、米国SBE年次大会への参加等国际交流活動を一層促進した。

* 詳細は別紙2にて報告。

(10) 第4回経営倫理シンポジウム開催の件

当学会主催、BERCおよびACBEE協賛の第4回経営倫理シンポジウムを平成24年3月9日拓殖大学文京キャンパス(東京・茗荷谷)

において開催した。当日は「グローバルCSRとBOPビジネス」をテーマに基調講演(住友化学(株)福林憲二郎氏・テーマ：

「民間企業から見たグローバルCSR～住友化学のアフリカでの取り組み事例～」、実践報告3名(味の素(株)CSR部部长

中尾洋三氏、元ヤクルト(株)専務平野博勝氏、NPO法人ガイア・イニシアティブ代表理事野中ともよ氏)および当学会常任理事で

本シンポジウムの実行委員長水尾順一氏(駿河台大学教授)をパネル・チェアとしたパネルディ

スカッションが行なわれた。

150名弱の参加者があり、終日、熱心な講演と活発な議論が行なわれた。また終了後は講師陣も参加しての懇親会を開催し、

シンポの熱気そのままに各々談義される姿がみられた。

(11) 年会費自動振替への移行の件

平成22年度に引き続き会員の年会費の支払忘れや事務局の年会費請求作業軽減のため自動振替制度を導入した。会員へは自動振替への切替を随時お願いしている。

(12) 会員名簿改定の件

会員名簿第8版を発行した。

(13) 東日本大震災の被災者に対する義援金送付および募集の件

平成22年度に引き続き会員各位へ義援金を募り、学会有志一同として日本赤十字社を通し292,471円の篤志を送った。

以上

(上記案は2012年6月23日16:00~17:20 明治大学駿河台キャンパス・リバティータワー10階で開催された定時会員総会で議案通り可決された。)